

「大阪・関西万博」開催記念

理事会メンバーと近畿地域ブロック会 合同でゴミゼロ事業を実施

理事会メンバーはDCマーク入りスカイブルーのブルゾン

近畿地域ブロック会の会員さんは協会SDGsの“3R”の図案シールを胸に

共同で公園のゴミ拾い



大阪城の天守閣を背景に参加者全員で記念撮影

昨年の軽井沢での全国地域ブロック会長等合同会議の活動報告時に、近畿地域ブロック会の樺田陶子会長が「大阪・関西万博を盛り上げるために、協会本部と合同で記念のゴミゼロ事業を実施したい」と呼びかけたことから、理事会メンバーとの合同ゴミゼロ事業が実現した。本来なら万博会場近くの夢洲で実施の予定だったが、会場近くは警備が厳しいことを理由に、大阪のシンボル・大阪城の天守を仰ぐ、大阪城公園が会場となった。

当日は理事会メンバー及び近畿地域ブロック会の会員さんなど総勢60名が参加して、一斉に清掃活動に励んだ。理事会メンバーはスカイブルーのDCマーク入りのブルゾン、近畿地域ブロック会の会員さんは、協会SDGs“3R”の20cm角のシールを胸に貼って、大阪城のお堀周辺のゴミを拾った。

「理事とのゴミ拾いに最初は緊張しましたが、そのうち気さくにお声掛けいただいたり、一緒にゴミ拾いをしているうちに会話も弾み、楽しく参加させていただきました」と会員さんの声も。

因みに2005年3月から9月にかけて愛知県で開催された愛知万博「愛・地球博」の期

間中に、同じように理事会メンバーと東海地域ブロック会の会員さんが合同でゴミ拾いをした実績がある。



浅井理事長の挨拶の後、近畿地域ブロック会よりゴミ拾いの詳細なルールの説明が行われた



協会 SDGs “3 R” のシールを胸に樺田会長